



まつもと じゅん

中区・磯子区・金沢区

# 松本純 まちかど政治瓦版



平成23年8月1日号

発行  
かながわ  
1区支部  
編集長  
平木 茂

8月号  
2011年  
No.104

松本純ホームページ 毎日更新中! [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp) ▶ 検索キーワード「松本純」

## 「ガレキ処理法案」「賠償金仮払い法案」…

### 菅内閣がやらないから私たちが議員立法で!

菅総理は「脱原発」で政権の延命を図ろうとしています、ちょっと待ってほしい。東日本大震災の被災地を見れば、いぜんとしてガレキの処理は進まず、仮設住宅の建設も遅れに遅れています。政府が今やらなければならないのは、いったい何なのか!



自民党など野党5党は7月1日、ガレキ処理法案を衆議院に提出しました。菅内閣の震災関連法案の提出があまりにも遅いので、私たちはしびれを切らしたのです。法案は「処理費用の全額国庫負担」を明記しています。あわてた政府は7月8日、「処理費用は9割を国庫負担、1割を交付金」とする法案を提出しました。「政府案も結局は全額国庫負担」と言いますが、交付金部分は一旦自治体が支出しなければならず、それが財政難の自治体を圧迫している現実を菅内閣は見ようとしません。

野党5党提出の原発事故賠償金仮払い法案が衆議院を通過したのも、菅内閣の対応の遅さを浮き彫りにしました。法案は東京電力による原発事故被害者への賠償金支払いが進んでいないことから、国がその一部を仮払いすることで促進させようというものです。参議院で可決した後、衆議院では圧倒的多数の民主党が「東電の賠償を支援する機構を設立する法案の成立が先決」と抵抗しましたが、結局は早急な被害者救済を求める野党提案を飲まざるを得ず、与野党の修正協議を経て両法は成立したのです。

被災地の復旧・復興が進まない原因は永田町の“政争”ではありません。最大の原因は、菅内閣のもとの法案提出が遅いことです。肝心の復興基本法の国会提出が発災から91日目。阪神淡路大震災の際の32日目に比べてスピードの欠如は明らかです。その中で私たち自民党は12日間の審議で法案の成立に協力したのです。「復旧・復興を遅らせているのは自民党などの野党」と、どうして言えるのでしょうか。

#### ご報告

6月11日に行われた「松本純政経セミナー2011」におきまして、参加された皆様から東日本大震災被災地救援として、24,317円の募金をお預かりしました。自民党本部を通して日本赤十字社に届けました。ご協力に感謝します。

菅内閣が被災地の復旧・復興に対応できないなら私たちがやるしかありません。現在のローンに復興のための新たなローンが追い打ちをかける「二重債務」を救済するための法案、現行法では亡くなった方の配偶者や子供などに限定されている災害弔慰金を「兄弟姉妹のみの世帯」にも広げる法案、原発事故調査委員会を国会に設置する法案…など、自民党は公明党などと協力して多くの関連法案を議員立法で準備しています。(7月23日記)

いま地域で  
(人・まち・出来事)

## 暴走族追放と子供・高齢者の事故防止を！

金沢青少年交通安全連絡協議会会長 原田 英二さん

青少年交通安全連絡協議会（青安連）は神奈川県だけにある組織で、昭和44年に「暴走族追放」を掲げて発足したそうです。以来、二輪車の交通事故や暴走行為根絶を目指し、公的な補助金を受けず会員の会費だけで運営されています。金沢青安連は各種職業組合や企業、個人など約30人の会員で構成され、5代目会長に就任した原田さんは横浜市内に多くのレストランを運営しながら地域の貢献に努めています。

以前、並木団地周辺では若者による二輪車の暴走行為が多発していましたが警察署や住民のパトロール、青安連による街頭キャンペーンなどによりその数は激減しました。活動は季節ごとの交通安全・事故防止運動など街頭でのキャンペーンが中心ですが、最近では高齢者による自転車事故が増えているそうで、原田さんは「従来の活動に加えて子供と高齢者の自転車事故防止を運動に加えていきたいですね」と語ります。そして「この歴史と活動を次代に引き継ぐことも私の重要な務め。そのためにも会員をもっと増やして、運動の輪を区全体に広げていきたいですね」ともおっしゃっていました。



原田英二会長

### 松本議員の活動記録

2011年  
6～7月

#### 《6月》

- 28日●横浜バロック室内合奏団創立20周年を祝う会
- 30日●自民党ネットサポーターズクラブ設立1周年総会

#### 《7月》

- 1日●中区歯科医師会いせざき地区常会（講演）
- 5日●農林・内閣・環境・治安対策特別部会合同会議
- 6日●健康保険政治連盟神奈川支部時局講演会  
●神奈川県病院薬剤師会夏季合同懇談会
- 8日●厚生労働委員会（採決）
- 9日●自由民主党川崎市支部連合会党大会

- 10日●瀬戸神社天王祭  
●第9回東葉会神奈川支部総会
- 12日●厚生労働部会薬事に関する小委員会
- 16日●杉田十日会商店街バーベキュー大会  
●金沢区薬剤師会通常総会  
●金沢八幡神社祭礼宵宮  
●町屋神社祭礼宵宮
- 17日●手子神社例大祭
- 18日●第14回六和会



6/20 自民党金沢区連合支部大会  
県市会の先生方と地域の声をすくい上げ国政に反映したいとお話しました。



7/6 健康保険政治連盟神奈川支部時局講演会  
健康保険組合の皆さんに国民皆保険制度について講演しました。



7/12 神奈川県薬剤師会国会見学  
患者さん、国民に如何に薬剤師職能を発揮していくか、意見交換しました。



7/16 洋光台6丁目南自治会夏祭り  
自治会の皆さんが開く夜店にゆかた姿の子供さん達が行列を作っていました。

「みんなの声」お寄せください ●くらしを豊かにする「政治」を感じていますか？ あなたの「政治」に対する想いをお寄せください  
▶メール info-matsumoto@jun.or.jp ▶ツイッター http://twitter.com/junmatsumoto411 ▶グリー http://gree.jp/matsumoto\_jun

## 永田町日記 「安全・安心の神奈川を」原県議が初報告会

この春の統一地方選で初当選した原そうすけ県議の初めての県政報告会が7月11日、ロイヤルホールヨコハマで開かれました。支援者など約170人が出席、原県議を後継者として引退された村上健司前県議や伊波洋之助、松本研両横浜市議らが顔をそろえました。原県議はあいさつで東日本大震災にふれ、「今回の大震災のように想定を超える自然災害に対しては、ハード面で万全な準備を整えることは難しい面もあるので、現在県内に33ある災害拠点病院のネットワークを密接にして災害時の医療救護体制を強化したい」と語りました。さらに安心して子供が産める周産期医療体制の強化、がん患者や家族へのメンタルケアの充実など、県民の安全・安心の確保に対する取り組みを報告しました。原県議は私の事務所を卒業して初めてバッジをつけた人ですので、私は村上先生はじめ支援者の皆さんのお力添えに感謝し、最近の国会の様子についてもお話ししました。（純）



原そうすけ県議